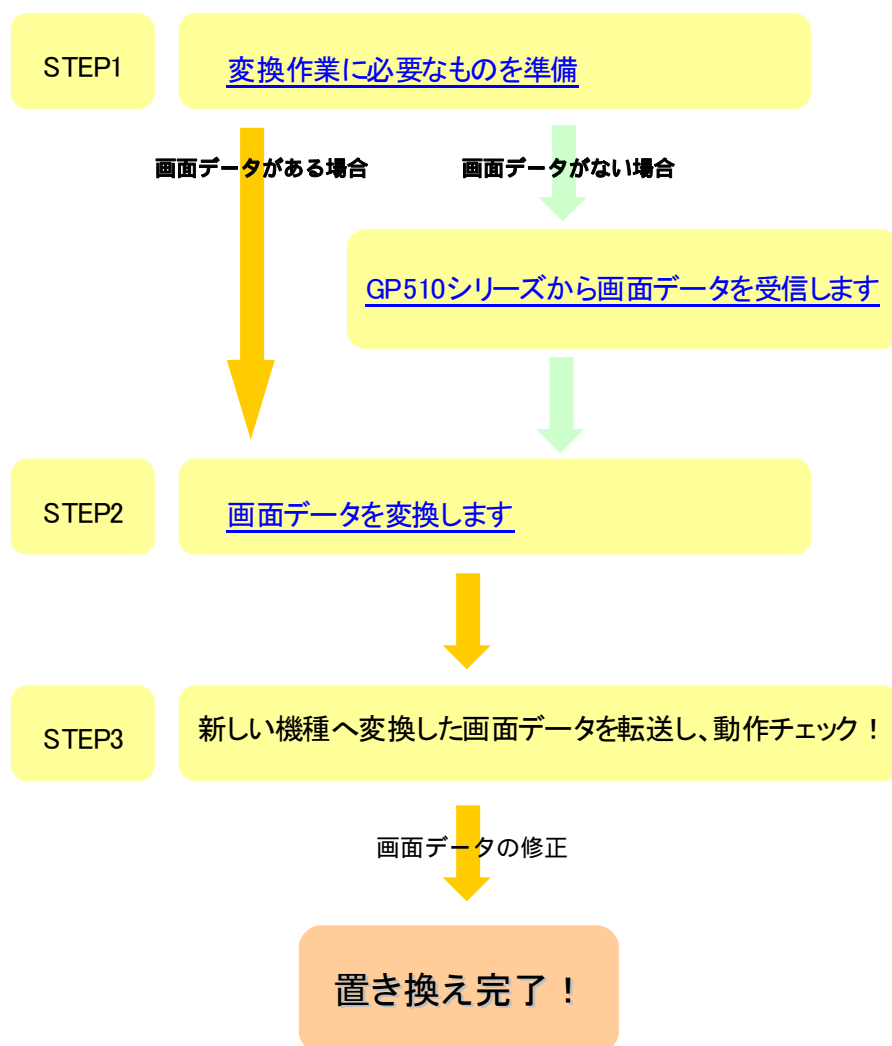


## 新しい機種へ置き換える方法

---

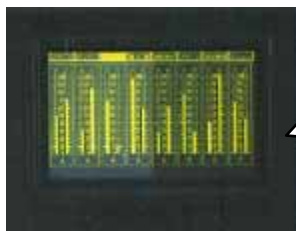
置き換え作業は以下のステップで行います。



## STEP1 変換作業に必要なものを準備

### 必要なもの

#### ① GP



GP509、508 の置き換えについては、専用キーボードが使えない為、データは直接受信できません。GP510 本体と GP509、508 に挿入されているメモ리카ードが必要となります。

GP477R または GP2000 シリーズ メモ리카ードが挿入されている GP510 (\*1)

#### ②GP\*10 専用キーボード(GP510-KB11) (\*1)(\*2)

#### ③RS232C クロスケーブル (\*1)



[詳細はこちらでご確認下さい。](#)

GP410IS00-O

#### ④作画ソフト C-Package03 がインストールされたパソコン



#### ⑤置き換え機種に画面データを転送する為の転送ケーブル

- ・ GP430-CU02-M
- ・ GPW-CB02(シリアル)
- ・ GPW-CB03 (USB) (\*3)



(\*1) すでに GP510 のバックアップデータ(拡張子 .GPM)がある場合は【\*1】の機材は不要です。

(\*2) 市販品は使用できません。デジタル製のものをご使用ください。

(\*3) GPW-CB03 は C-Package02 V6.23 以上で対応しています。また、別途ドライバのインストールが必要です。

対応 OS は Windows98/2000/ME/XP となります。

## ■RS232C クロスケーブルについて

### オプションケーブルをご使用頂く場合



GP 側      パソコン側

両方のコネクタに9ピン-25ピン変換アダプタが必要です。

弊社製 RS232C ケーブル GP410-IS00-O もご使用頂けます。(左図)

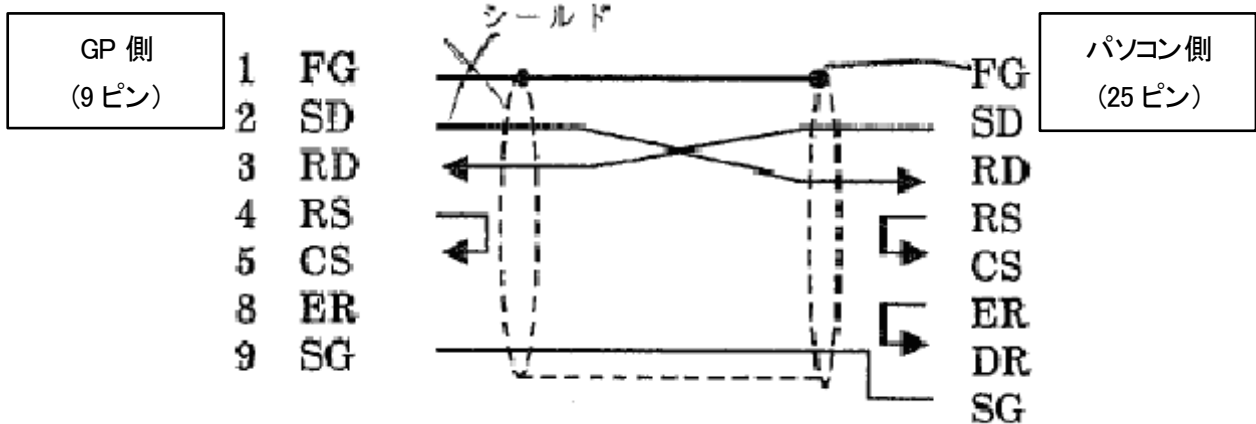
上記ケーブルは GP と PLC を接続頂くケーブルで、GP 側、PLC 側に接続する方向は決まっています。コネクタの近くに黄色いシールが付いており、こちらが PLC 側のコネクタとなります。

GP からデータを受信する際にご使用頂く場合、この黄色いシールの付いた PLC 側のコネクタをパソコン側に、逆側を GP 側に、両方とも 9 ピン-25 ピン変換アダプタを装着し、接続して下さい。

※GP510-IS00-O は、GP 側に 9 ピン-25 ピン変換アダプタを装着せずご使用頂けます。

### ケーブルをご自作頂く場合

#### RS232C クロスケーブルの結線図



※パソコン側には、別途 9 ピン-25 ピン変換アダプタが必要です。

## 旧機種で使用していた画面データを用意します

---

画面の受信は以下の3種類があります。



### 方法① GP510 のデータを直接 C-Package03 がインストールされているパソコンで受信する場合

※ GP509、GP508 については、メモ리카ードを GP510 に挿しかえてのデータ受信が必要です。

### 方法② GP-COM にて、メモ리카ード単位で受信したバックアップデータ(\*\*\*.GPM)がある場合

※\*\*\*はファイル名です

### 方法③ GP-PROで作成した、またはGP-COMにて、画面ファイル単位で受信したバックアップデータ(\*\*\*L□□)がある場合

※\*\*\*は画面番号です。

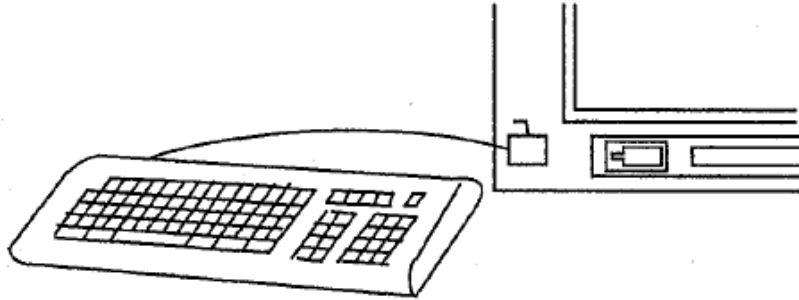
L□□はプロトコル(PLC タイプ)によって変わります [詳細はこちらをご参照下さい。](#)

## プロトコル別拡張子一覧

PLC メーカー	シリーズ名	対象 PLC	GP リンク名	拡張子
汎用			MtoM	.MTM
オムロン	SYSMAC	C	L0,LC	.L00
		CV	LC	.L0D
三菱	MELSEC	AnN	L0,LA	.L01
		AnA	LA	.L0B
		F2	LD	.L0I
		FX		.L0H
シャープ	ニューサテライト JW	JW	L1	.L02
横河	FACTORYACE	FA500	L2	.L03
		FA500 互換	YGP	.L03
富士	MICREX	F	L3	.L04
豊工	TOYOPUC	PC1	L4	.L05
		PC2		.L06
安川	Memocon-SC	GL60	L5	.L09
		GL20		.L0A
松下	MEWNET	FP	L9	.L07
日立	HIDIC	S	L6	.L08
	HIZAC	H	L8	.L0G
東芝	PROSEC	EX2000	L7	.L0E
		EX100		.L0F
光洋	KOSTAC	SR	LB	.L0C
TOYOTA	ME-NET		TGP	.LTG
Modicon	984-Family		LMD	.LMD
Siemens	S5-90,95,100,115		LSI	.LS0
	S5-135,155			.LS1

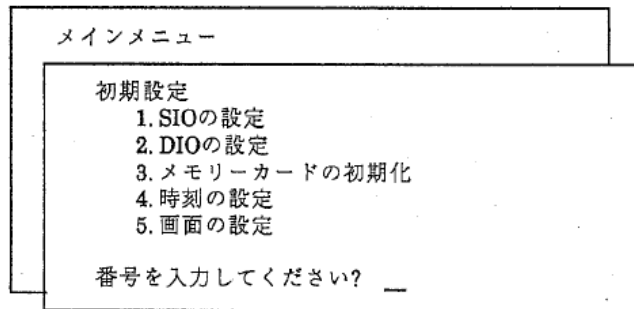
**方法① C-Package03 がインストールされている PC で受信する場合**

- ① GP510 本体に専用キーボードを接続し、キーボードの【PF1】キーを押します。

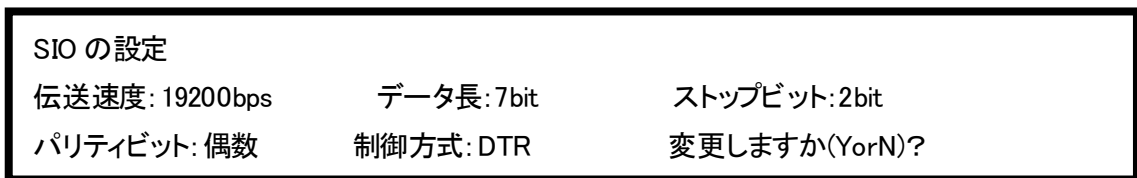


- ② GP の画面がオフラインに切り替わりますので、[メインメニュー]で[3]を選択します。

- ③ [初期設定]画面にて[1]を選択後、[RET]キーを押します。



- ④ GP 本体の通信設定(SIO の設定)が表示されます。データ受信用の通信設定に変更しますので、必ず現在設定されている通信設定を控えてください。



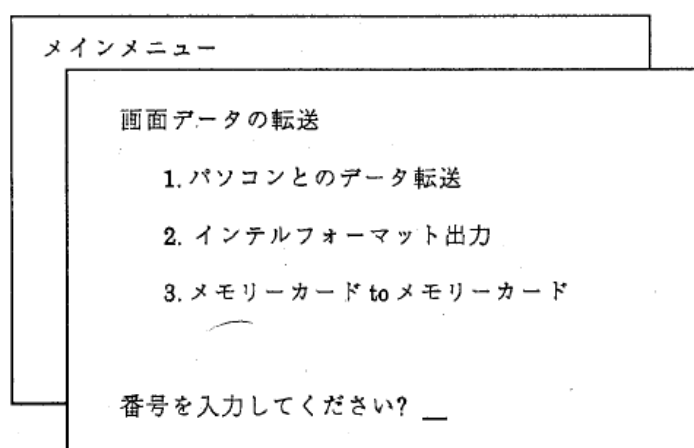
**この設定を必ず控えて下さい！  
設定を忘れてしまうとコンバート後の通信エラーの原因となります。**

- ⑤ データ受信用の通信設定を以下のように設定し、[Y]キーを押し、[RET]キーを押します。

伝送速度:9600bps  
データ長:8bit  
ストップビット:1bit  
パリティビット:なし  
制御方式:XON/XOFF

- ⑥ [PF1]キーを押し、[メニュー画面]に戻ります。

- ⑦ [メインメニュー画面]で[2]を選択し、[パソコンとのデータ転送]を選択します。

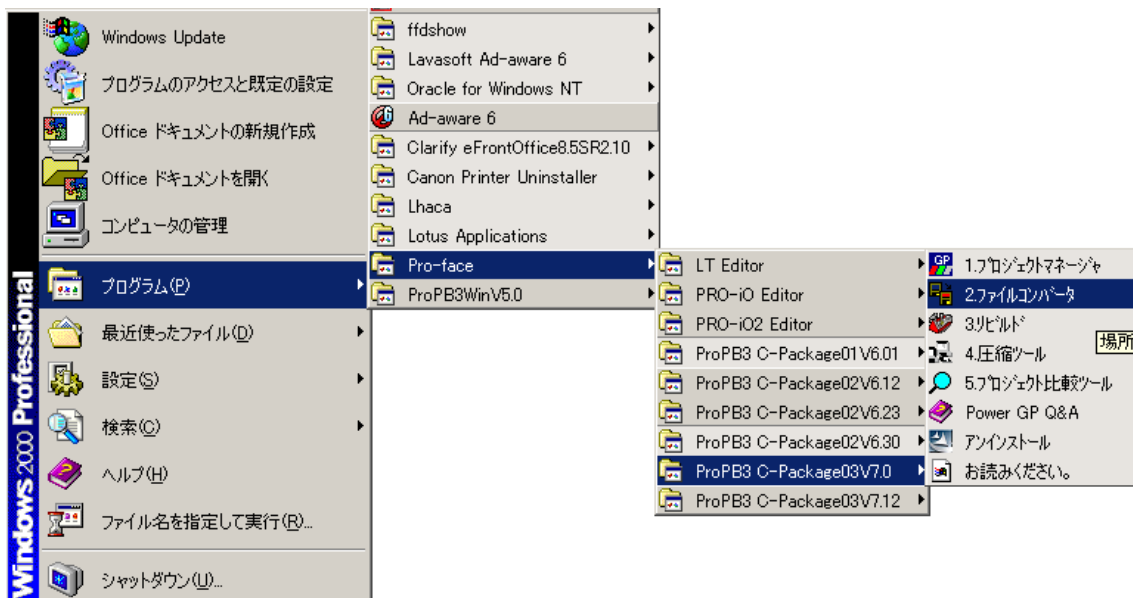


- ⑧ GP510 の SIO ポートとパソコンを RS232C のクロスケーブルで接続します。  
※使用可能ケーブルについてはこちらをご覧ください。

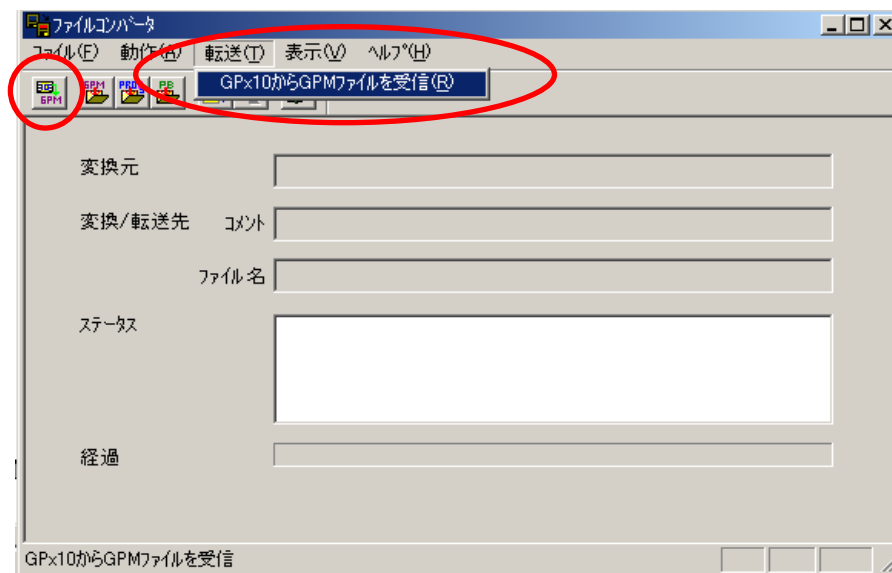
これで GP510 からデータを受信する準備が完了しました。次に C-Package03 がインストールされたパソコンを起動し、[ファイルコンバータ]を使って GP510 の画面を受信します。


GPM ファイルを受信します。

- ① Windows のスタートボタンをクリックし、[プログラム(P)]→[Pro-face]→[ProPB3 C-Package03V7.0]の順にポイントし、[2.ファイルコンバータ]をクリックします。



- ② [転送(T)]から[GPx10 から GPM ファイルを受信(R)]を選択します。



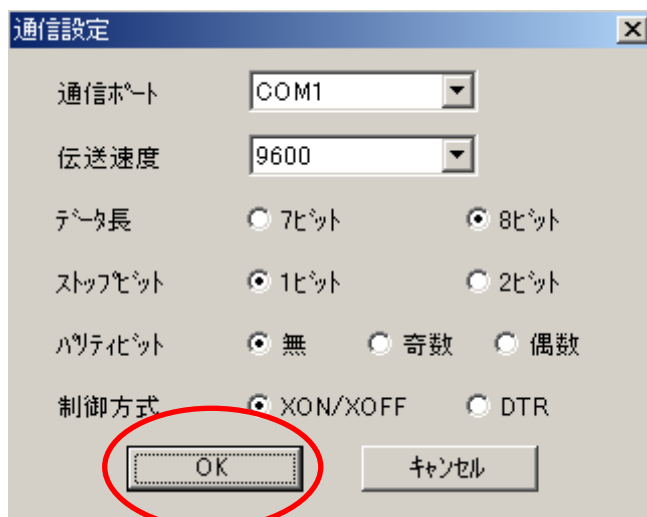
または  のアイコンをクリックします。

- ③ 受信したデータを保存する場所とファイル名を指定して、保存をクリックします。

ファイル名: SAMPLE.GPM

※上記ファイル名は例です。任意のファイル名になります。

- ④ 通信設定を設定し、[OK]をクリックします。

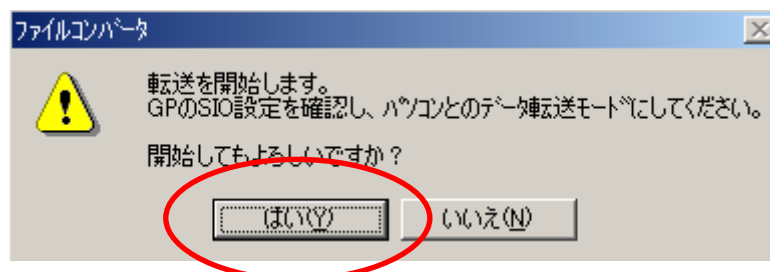


### 通信設定について

GP で設定した内容と同じ設定にして下さい。

伝送速度: 9600bps  
データ長: 8bit  
ストップビット: 1bit  
パリティビット: なし  
制御方式: XON/XOF

- ⑤ [はい]をクリックして受信を開始します。



これで GP510 のデータをパソコンで受信する作業の完了です。

**方法② GP-COM にて、メモ리카ード単位で受信したバックアップデータ(\*\*\*\*.GPM)  
がある場合**

データの受信やファイルの確認などは必要ありませんが、フロッピーディスクに保存したバックアップデータを Windows で読める状態にする必要があります。



PC-98 の FD は 1.2M フォーマットで作成されます。

Dos/V パソコンは 1.44M のフォーマットでなければ通常は読めません。ここでは、1.2M フォーマットの FD を読む方法を紹介します！（※お客様の環境によって読めない場合もありますのでご注意ください）

方法は2つあります。

まず 1 つ目は、3mode(スリーモード)対応の FD ドライブを用意していただくこと。  
もう 1 つは、NEC の PC-98 の MS-DOS で NEC-PC98 と DOS/V パソコンの両方で読める FD を作成する方法です。

**【手順】**

- ①NEC の PC-98 のパソコンを用意します。  
↓
- ②PC-98 の MS-DOS プロンプトで、“FORMAT” Enter を押すとフォーマットメニューが立ち上がります。  
↓
- ③フロッピーディスクを選択します  
↓
- ④媒体種別を ”2HD(1.44MB) FD”を選択し、FORMAT コマンドを実行します。  
↓
- ⑤NEC の PC-98 と Dos/V 両方読み込み可能となります。

上記内容をご確認頂いたら、[STEP2 画面データを変換します](#)へ進んで下さい。

### 方法③ GP-PRO で作成した、または GP-COM にて画面ファイル単位で受信した バックアップデータ(\*\*\*\*.L□□)がある場合

この拡張子のデータは画面ファイル単位でのバックアップデータとなります。  
GP-PRO2 Ver3.0～Ver3.3 のソフトを使って、GP-PRO2 用データの\*\*\*\*.D□□という  
拡張子のデータに変換後、GP-PRO2 用データ変換方法の

### STEP3 画面データの変換へお進み下さい。

この作業は、いったん GP-PRO II を終了させてから、付属のデータ変換用プログラムツールを起動させて行います。変換用ツールは、GP-PRO II インストール時に自動的に作成される<CONVERT>というディレクトリの中にあります。



注意:

- ・変換後のファイルを格納するために十分な容量を確保してから、作業を開始してください。変換後のファイル容量は、変換前よりも大きくなります。
- ・GP-PRO II Ver3.0～3.3 のソフトの場合での変換方法になります。Ver3.0 未満のソフトをお持ちの方、もしくはソフトをお持ちでない方はホームページ上で有料ダウンロード頂くか弊社営業へお問い合わせ下さい。

### <起動方法>




A:¥GPPRO2>

いったん GP-PRO II を終了し、DOS のプロンプト状態にします。カレントディレクトリは GP-PRO II がインストールされているディレクトリとします。

注意:

「GP-PRO II /V」をご使用の場合は、下記のドライブ指定をご参照ください。

	PC98 シリーズ パソコン	DOS/V パソコン
ハードディスク	Aドライブ	Cドライブ
FD1	Bドライブ	Aドライブ
FD2	Cドライブ	Bドライブ

- ①
- A:¥GPPRO2>CD CONVERT
- CONVERT のディレクトリに移ります。
- CD CONVERT 
- ②
- A:¥GPPRO2¥CONVERT>GPCVT
- 変換プログラムを起動させます。
- GPCVT 
- ③
- Pro-face 画面データ変換プログラム
- 1:画面ファイル単位の変換(GP410→GP430)
- 2:メモリーカード単位の変換(GP410→GP430)
- 3:ディレクトリの表示
- 4:終了
- メニューが表示されます。  
番号を入力します。またはカーソルキーをメニューに合わせて  を押します。

## <各メニューの内容>

### 1 画面ファイル単位の変換

画面ファイル単位で保存されている GP-\*10 用のデータ(\*\*\*.L□□)を GP-PRO II 用のデータ(\*\*\*.D□□)に変換します。

### 2 メモリーカード単位の変換

メモリーカード単位で保存されている(保存データファイルの拡張子が.GPM である)GP-\*10 用のバックアップデータを GP-\*30 用のバックアップデータに変換します。

### 3 ディレクトリの表示

指定したディレクトリ内のファイルを一覧できます。

### 4 終了

変換ツールを終了します。

## 画面ファイル単位の変換

画面ファイル単位で保存されている GP-\*10 用のデータ(\*\*\*\*.L□□)を GP-PRO II 用のデータ(\*\*\*\*.D□□)に変換します。

元データはフロッピー<GPPRO>というディレクトリの中に格納されている状態で、フロッピードライブ名は B、変換後のデータは A:¥GPPRO2¥DATA に格納する場合の変換例をご紹介します。



①

Pro-face 画面データ変換プログラム

- 1:画面ファイル単位の変換(GP410→GP430)
- 2:メモリーカード単位の変換(GP410→GP430)
- 3:ディレクトリの表示
- 4:終了

画面ファイル単位の変換を選択します。

②

1:画面ファイル単位の変換(GP410→GP430)  
GP510 保存ファイル名?[SAMPLE.GPF] ※

画面ファイル単位の変換を実行する画面が開きます。

GP-\*10 用のデータのファイル名を入力します。データファイルが他のディレクトリにある場合は、ディレクトリ名から入力します。GP-PRO のデータの場合、ファイル名をワイルドカード \*1 でまとめて指定すると便利です。ただし、拡張子は必ず入力して下さい。

### \*1 ワイルドカード

DOS で、ファイル名の代わりになる記号です。「\*」と「?」の 2 つがあります。この 2 つを使用すると、複数のファイルを一括して指定する事ができます。

例

B:¥GPPRO¥\*.L0B 

③

1:画面ファイル単位の変換(GP410→GP430)  
GP510 保存ファイル名?[B:¥GPPRO¥\*.L0B]  
ディレクトリ名?[ ]

GP-PRO II 用のファイルを格納するディレクトリを指定します。

画面に表示されている[ ]とはカレントディレクトリという意味です。変換用ファイルが格納されているディレクトリと同じであれば、そのまま



を入力します。

例

B:¥GPPRO2¥DATA

④

PLC タイプを選択して下さい  
 (M: MtoM ,0: SYSMAC C ,1:  
 (3: FA-500 ,4: MICREX-F ,5:  
 (7: MEWNETFP ,8: HIDIC ,9:  
 (B: MELSEC AxA,C: KOSTAC SR21 ,D:  
 (F: EX100 ,G: HIZACH ,H:  
 PLCTYPE=0

PLC タイプを指定します。GP-\*10 用の PLC タイプと同じにします。

例 MELSEC-AxA シリーズの場合



1 を変換しました ファイル名は B1.DLB です  
 2 を変換しました ファイル名は B2.DLB です

PLC タイプを入力すると、ファイルの変換が開始されます。

画面上には、変換の実行状況が表示されます。

GP のファイルデータ終了(ESC キーで終了)

変換作業の終了が画面上で確認できたら



を入力して下さい。メニュー画面に戻ります。

ます。

※ 実際には、GPF という拡張子は存在しません。拡張子.L□□のファイルをまとめて例として表したものです。拡張子の詳細は [こちら](#)になります。

変換前と変換後の画面データのファイル

名は、以下のような関係となります。



GP-*10 ファイル		GP-*30	
ベース画面	1~255	B1 ~ B255	
ライブラリー画面	300~699	B300 ~ B699	
マーク画面	700~999	M700 ~ M999	
折れ線グラフ画面 *2	1000~1199	T1000 ~ T1199	
アラームメッセージ	1200~1299	A1200 ~ A1299	

\*2 画面ファイル単位の変換では折れ線グラフ画面ファイル(1000~1199)は変換できません。変換は、メモ리카ード単位で行なって下さい。

- ・ 変換後もタグ名は変わりません。ただし、l タグ、m タグの場合は、元のタグ名の前に l タグの場合は L を、m タグの場合は M を付加します。
- ・ 変換後のファイルはそのまま GP-PRO II でオープンできます。変換直後は、**F7-環境設定**の「機種設定」が「GP-430 系」となっています。GP-\*50 もしくは GP-230 にてご使用になりたい場合は、「機種設定」を変換して、ファイルをセーブしてください。

注意:

- ・ 画面ファイルの変換には、以下の注意点があります。このような場合は、画面ファイルの修正/補正が必要となります。
  - ・ 表示属性が黒色+ブリンクの場合、白色+ブリンクに変更されます。
  - ・ 円弧、扇形は、描画の高速化にともない GP-\*10 画面ファイルの座標データ(始点、終点、中継点)の最適化を行ないます。そのとき、描画上のズレが生じることがあります。
- ・ 変換後、データのタグの設定内容を必ず確認して下さい。
- ・ 32ビットデータを使用した場合、PLCタイプによって32ビットデータの上位、下位の関係が異なりますのでご注意下さい。

注意点につきましては、[こちら](#)で詳細をご確認下さい。

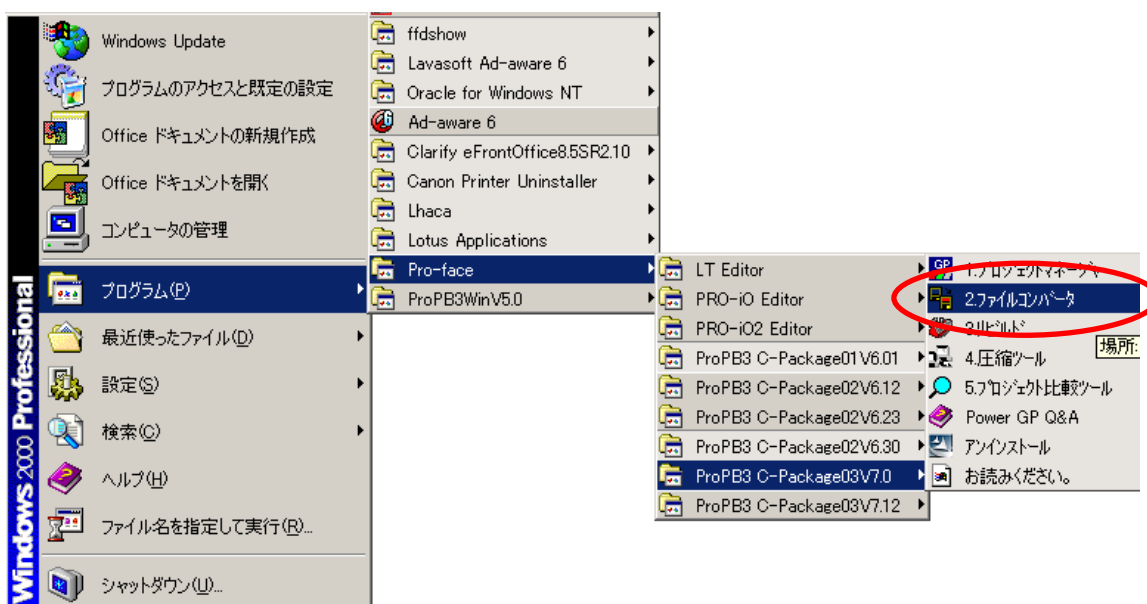
これで GP-\*10 用のデータを GP-PRO II 用のデータに変換する作業が終了しました。あとは GP-PRO II 用のデータを C-Package03 用のデータに変換する方法と同じように変換するだけです。



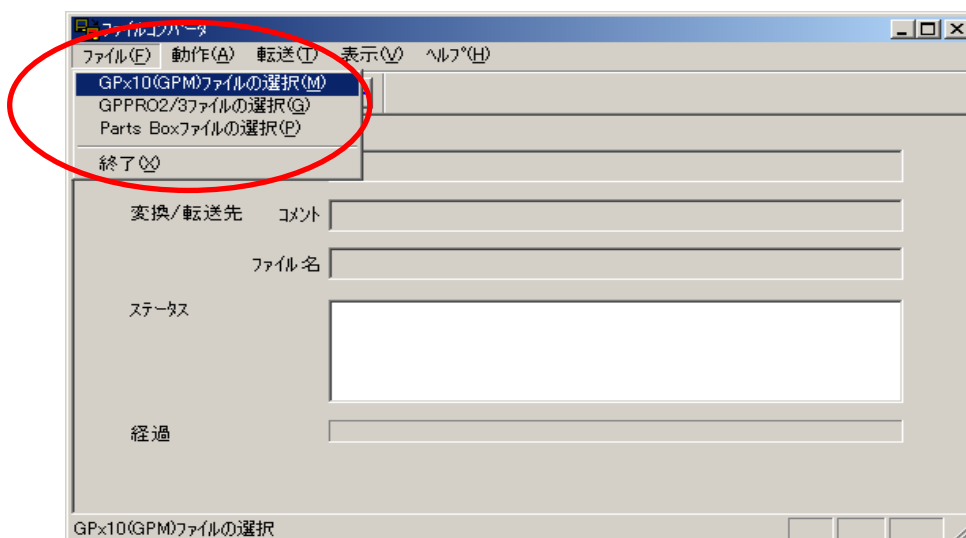
## STEP2 画面データを変換します


パソコン上に保存された GP510 のバックアップデータ(GPM ファイル)を GP2000 シリーズ用に変換します。

- ① スタートボタンをクリックし、[プログラム (P)] → [Pro-face] → [ProPB3 C-Package03V7.0]の順にポイントし、[2.ファイルコンバータ]をクリックします。

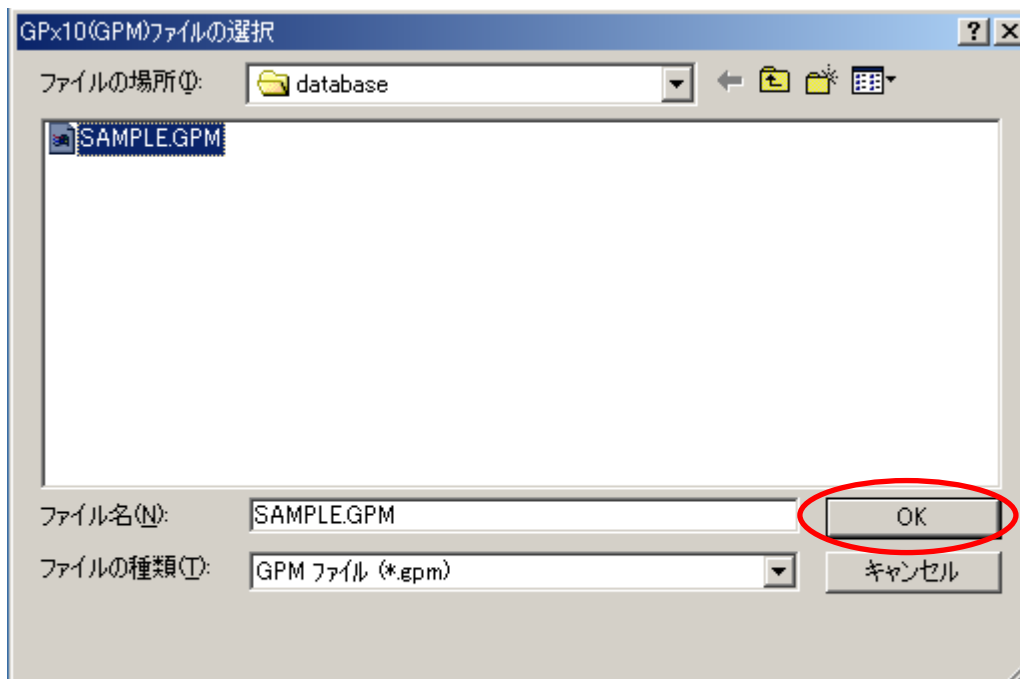


- ② [ファイル(F)]から[GPx10(GPM)ファイルの選択(M)]を選択します。

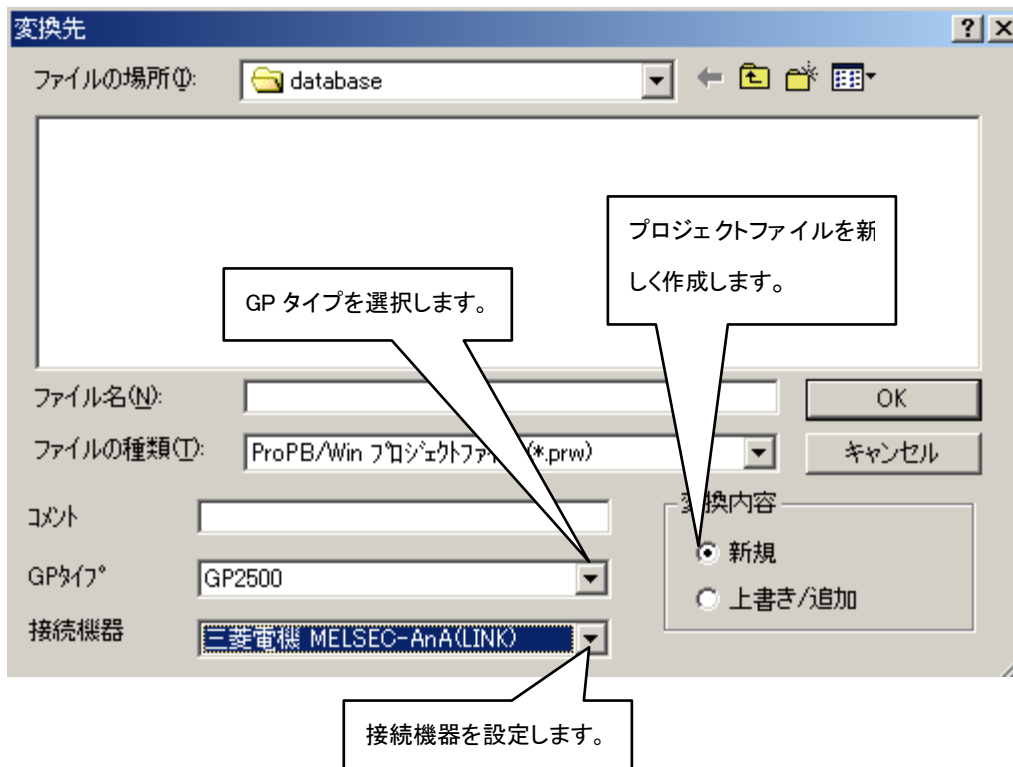


または、のアイコンをクリックします。

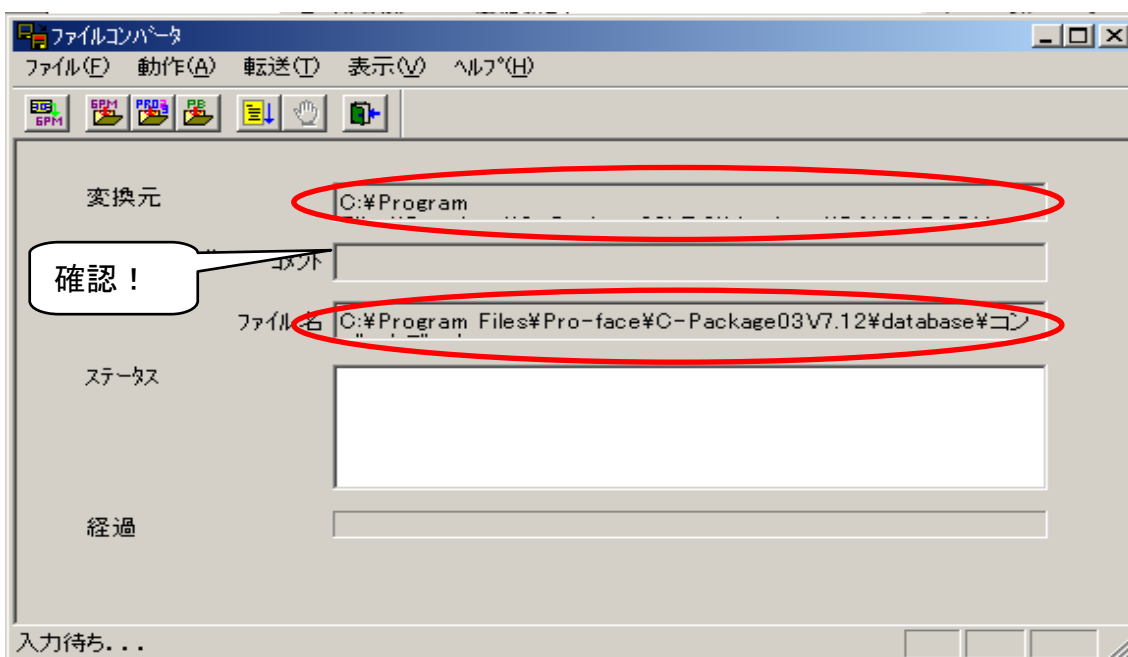
- ④ 以下のダイアログボックスが表示されますので、変換したい GPM ファイルを選択、またはファイル名を入力し、OK をクリックします。




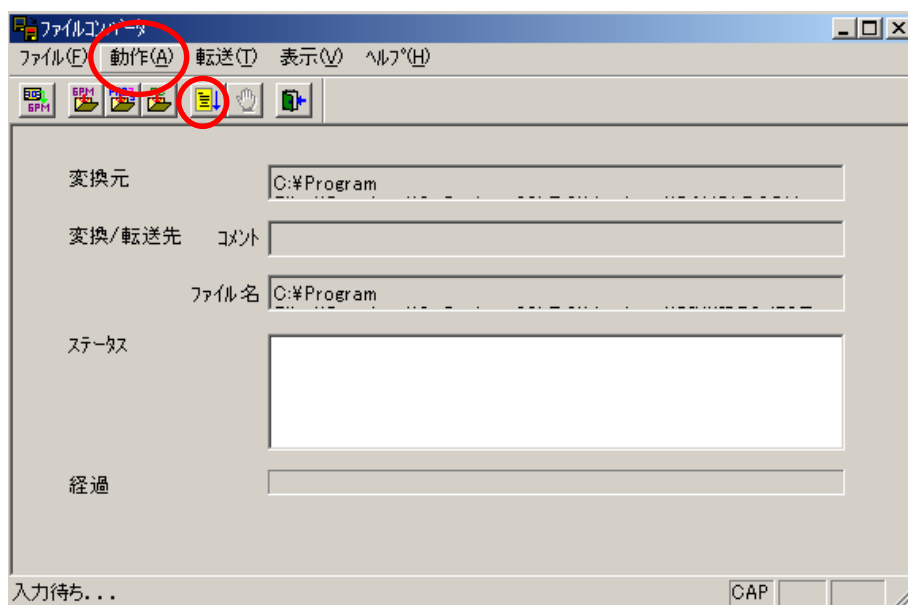
- ⑤ 変換後の保存先フォルダとプロジェクトファイル名を入力し、また GP タイプと接続機器も指定します。



- ⑥ 確認したら、OK をクリックします。変換元、変換先の設定を確認します。



- ⑦ 確認したら、[動作(A)]→[変換(C)] を選択、または  のアイコンをクリックし、実行します。  
変換の進行状況を表示します。ステータスのところに終了と表示されれば変換完了です。



- ・ 変換前のファイル番号と変換後の画面番号は、以下のような関係となります。

画面の種類	GP*10 ファイル番号	GP*77R、2000 シリーズ画面番号
ベース画面	1～255	B1～B255(ベース画面)
ライブラリー画面	300～699	B300～B699(ベース画面)
マーク画面	700～999	M700～M999(マーク画面)
折れ線グラフ画面	1000～1199	T1000～T1199(折れ線グラフ画面)
アラームメッセージ	1200～1299	アラームエディタ(サマリ/メッセージ) 1200 番～1299 番

- ・ 変換後もタグ名は変わりません。ただし、lタグ、mタグの場合は、元のタグ名の前にタグの場合はLを、m タグの場合はMを付加します。

例

L10→LL10

l10→Ll10

M10→MM10

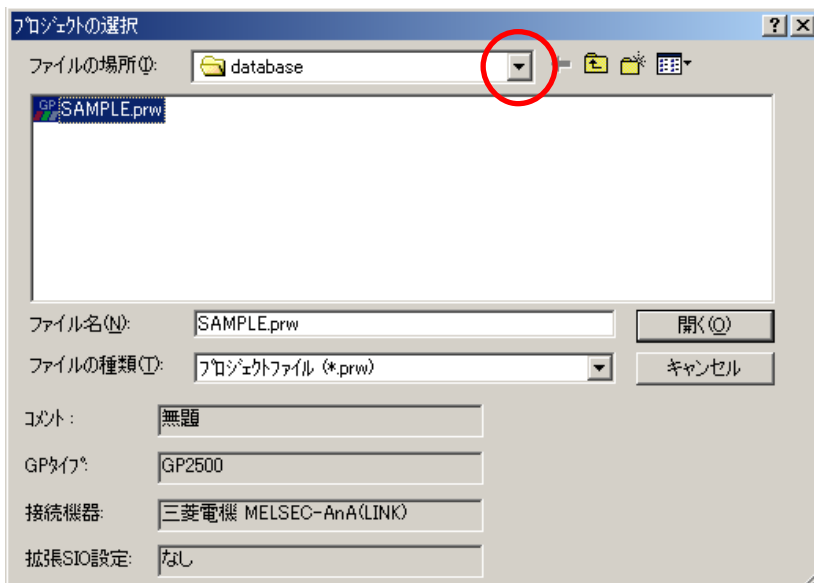
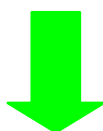
m10→Mm10

## STEP3 新しい機種に変換した画面データを転送します

- ① GP2000 シリーズとパソコンを転送ケーブル(GPW-CB02 等)で接続します。
- ② プロジェクト選択の[既存]から、変換後のプロジェクトを選択します。



作画ソフトを立ち上げた青い画面のこのアイコンをクリックします。



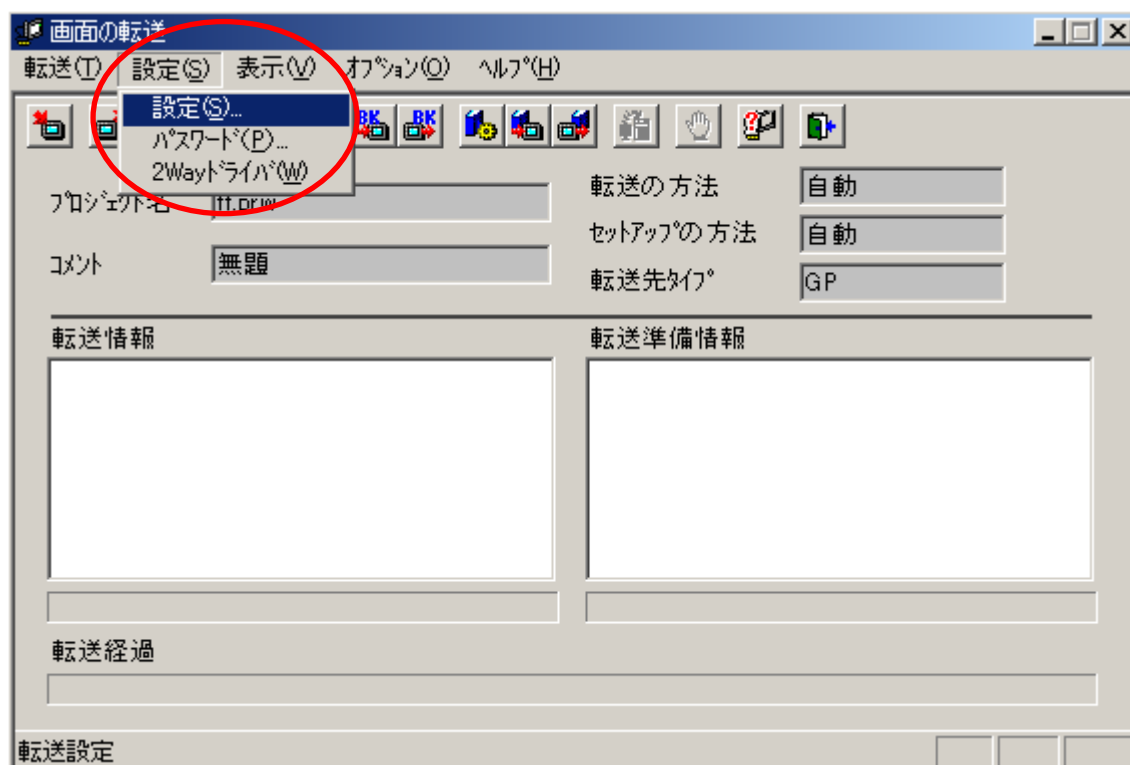
変換の際に指定したファイルの場所を選択し、変換後プロジェクトを開きます。

③ C-Package03 のプロジェクトマネージャ[画面の転送]を選択します。



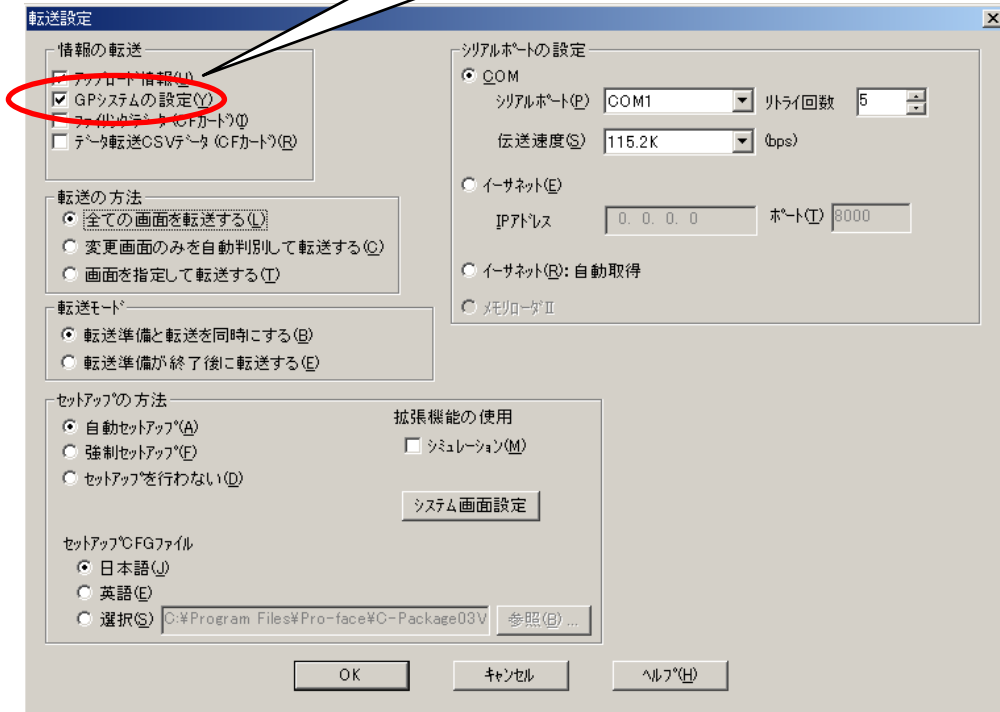
作画ソフトを立ち上げた青い画面のこのアイコンをクリックします。

④ [設定]→[設定]を選択します。

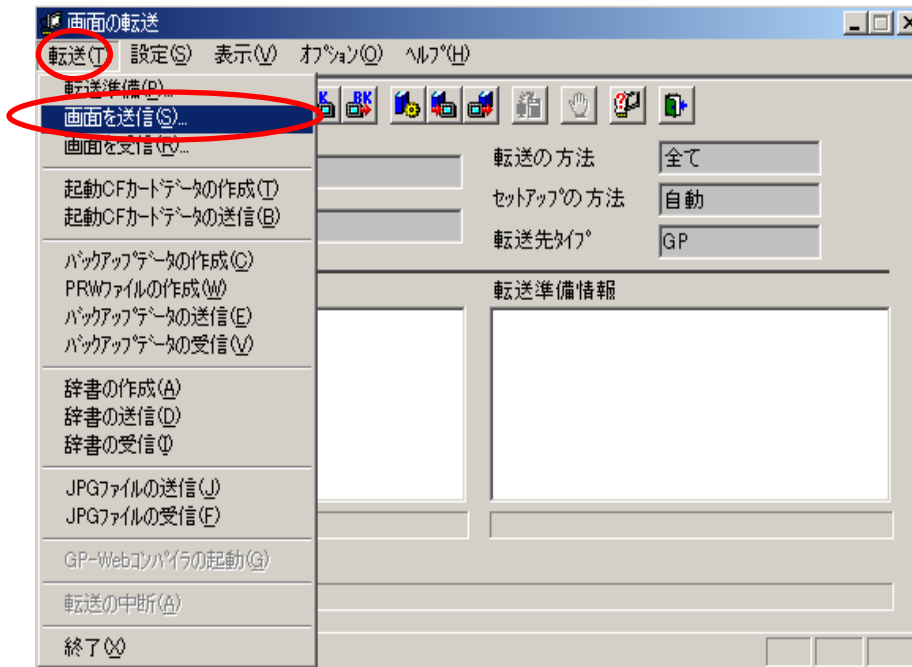



⑤ 以下のような設定になっていることを確認し、[OK]をクリックします。

GP システムの設定に  
チェックを入れて下さい。



⑥ [転送(T)]→[画面を送信]または以下のアイコンをクリックし、GP2000 シリーズに転送します。



または  のアイコンをクリックします。

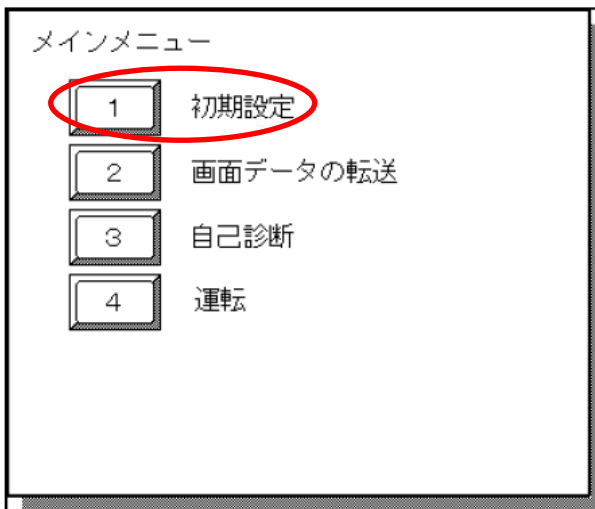
⑦ オフラインで通信設定を確認します。



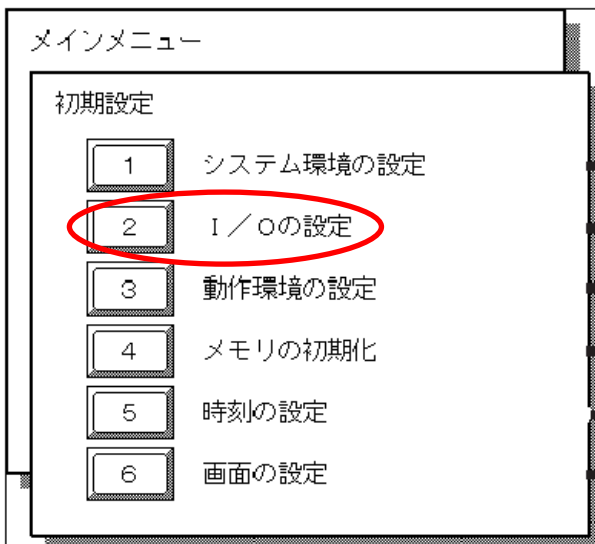
問題なく転送できているかの確認の為、オフラインで通信設定の確認をして下さい。



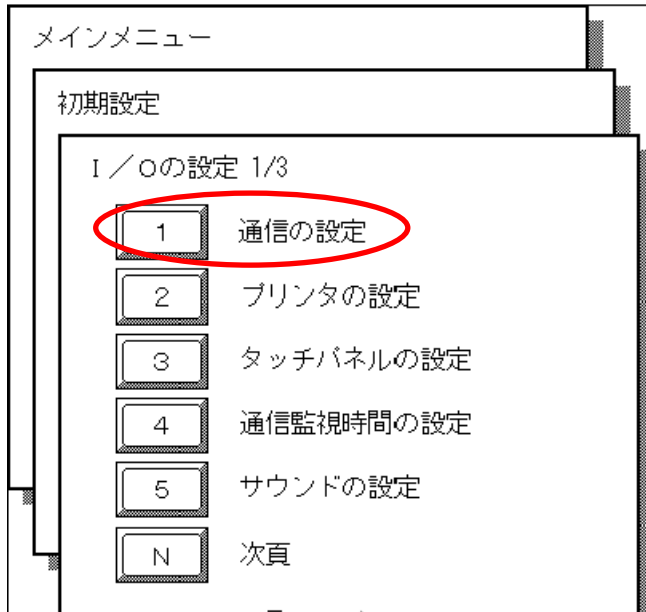
オフラインでの通信設定の確認方法



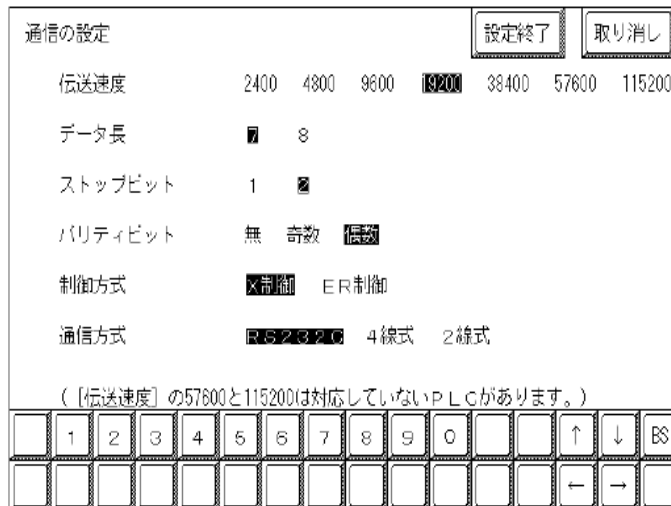
① メインメニューで、[1.初期設定]を選択します。



② 初期設定の、[2.I/O の設定]を選択します。



③ I/O の設定から、[1.通信の設定]を選択します。



④ 左のような画面になりますので、変換前の GP510 と同じ通信設定になっているか確認して下さい。

以上で GP2000 シリーズ、477R へのデータ転送が終了しました。